

令和5年度第5回合志市教育委員会会議録

- 1 会議期日 令和5年8月28日（月）
- 2 開議時刻 午後1時30分
- 3 会議場所 合志市役所 2階 庁議室
- 4 出席委員 委員 高本孝一
委員 津川裕恵
委員 坂田由美子
委員 林田新也
- 5 欠席委員
- 6 職務のために出席した者
教育長 中島栄治
教育部長 岩男竜彦
学校教育課 草場博志 教育審議員
小林信一 指導主事
西和佳子 指導主事
栗木清智 課長
歌野雅文 課長補佐
生涯学習課 牧野淳一 課長
人権啓発教育課 田中政吉 課長

○中島栄治教育長

それでは時間になりましたので、ただいまから令和5年度第5回教育委員会8月定例会を始めます。よろしくお願いいたします。

いよいよ今日から前期後半がスタートしましたが、今のところ教育委員会には特別な報告はあっておりません。私が先週、先生方にメッセージを発信しました。以前であれば、スタートダッシュで最初からきちんと行きましょうというメッセージを発信しますが、現在の子ども達の状況、夏休みの厳しい暑さで倒れた事故もあつたりしております。夏休みの間、冷房の中で過ごしている子ども達が急に暑い中、登校しなければいけない、学校で生活をしなければいけないとなるとハードルが高くなるのではないかと予想しまして、スロースタートでいいからしっかり子ども一人一人に声をかける余裕を持って始めてくださいというメッセージを送りました。

もう一つ気になっているのが、コロナ感染の状況です。今後、報告が上がってくると思いますが、多く出てくるのはやむを得ないことだと思います。インフルエンザと同様に適切な対応、学級閉鎖・学年閉鎖等も考慮しながら取り組みたいと思っていますところでは、会議を始めさせていただきます。

まず2番の会議録署名者の指名です。高本委員、林田委員にお願いしたいと思いますが、よろしいでしょうか？

では3番に移ります。前回会議録の承認ということで、会議録を事前にお配りしておりますが、何かご質問ご意見等ありませんでしょうか？よろしいですか？

それでは、承認いただいたものとしたと思います。

続きまして私から動静報告をさせていただきます。

8月ですが、多くの行事がコロナ以前に戻り開催されるようになったというのが大きな印象です。

7月27日 10時から市の教育講演会。伝えたいメッセージとしては、やはり今の厳しい状況について現実をきちんと受け止め、できること・やれることを続けること、しっかり地に足のついた教育をしたいというようなことが先生方に伝わればというのが一番の思いでした。

最後が少し駆け足になってしまいましたので、先生方の印象は、働き方改革の部分をもっと詳しく話して欲しかったという感想もあましたが、働き方改革については、お金・物・人手をかけない限り改革は進まないと思っています。今の状況で、働き方改革をしなさいというのは、今までやっていた事の何かをやめるのか考えていかなければならない。また、もう一つが1人ではしないと。みんなでやるということしか対応策はないので、それをもう少し丁寧に話すべきだったかなと思っていますところでは。

その後、16時から中体連九州大会、全国大会出場者の表敬訪問がありました。全部で41名の県代表の中学生が来てくれました。41名という数を考えると、合志市の子ども達はスポーツ面をよく頑張っていると感じたところです。

7月28日 市の退職校長会総会。ひのくにふれあいセンターで開催され、教師不足の現状をしっかりとわかっていただこうということでお話をしました。退職校長先生方も今の教育界の大変さを改めてわかったというようなお話をお伺いしたところです。

続きまして29日が人権教育研究大会。ヴィーブル文化会館で開催されました。感想として、きちんと前を向けるところに人権教育がこれから先もないといけないと、差別をしてはいけませんと言いますが、何をすればいいんだとか、乗り越えたらどんないいことがあるのかというようなことを、もっと実感するように、さらにこのような講演会というのは力を入れていきたいと思いました。

7月20日 平島区大太鼓お披露目式。平島のみどり館に常時展示をしてあり、様々なイベントで使用するという事です。社会コミュニティ活動活性化の一環になればというふうに願っているところです。

8月1日 庁議、政策推進本部会議。

8月2日 市校長会議。8月は管内教育長会議の開催は無く、市校長会のみだったのですが、その中で前期前半を振り返って、いろんな行事がスタートしましたが行事の精選が進んでいるということはまだ言えないので、しっかりと精選する。行事を復活させるなら復活させる、どんなに大変でもやるならばやるというようなところでは、見直しをしてくださいということが1点。そして前期後半に向けてということで、地域の方々からお話を聞いておりますと、合志市の子ども達は今まで一番自慢できるのは挨拶でした。子ども達が地域の方に、特に中学生が部活動の挨拶のように地域の方々に挨拶をすると。地域の方が心配なのは小学生です、と言われます。よく考えたら、コロナ禍の3年間、なかなかマスクをしていて顔も目も合わせない、挨拶も十分にはできない。それから学校では、集会で児童を集めてきちっとした挨拶をすることが欠けていきましたので、今の小学校4年生までは1回も全校集会などを経験していない。その方がおっしゃっているのも、低学年の子ども達が挨拶をしてくれないと、下を見てそのまま歩いて行ったり、こちらから挨拶をしても、目を合わせたらそのまま通り過ぎてしまう、ということをおっしゃっていましたので、これは学校でしっかりと子ども達にも伝えなければいけないと思いましたし、私も地域の中で無関心でいるのではなく、お互いに挨拶をする市に戻らなければいけないと思いましたので、挨拶の指導については学校でもこだわってやってくださいとお願いしております。そのこともあって、夏休み中に地域の行事があるとき、できれば学校から協力できませんかと、先生方が地域に出向いて子ども達の顔を見たり、お話などができるならば協力お願いしますとお話しておいたところ、各地域の夏祭りに中学生の吹奏楽部が音楽の発表をしてくれたり、

担当した先生は地域の方とお話をしたりしていただきましたので、このような活動がもっと広がればと思ったところです。

その他の部分で、全国的に起きていた事故について、水難事故であったり、交通事故であったり、7月にお話をしたと思いますが、学校警察連絡協議会からの連絡の中に、中学生や小学生まで大人の性被害に遭ってしまう SNS などを通じて被害に遭うことがありますので、先生方にもう一度アンテナを高くして取り組みをしてくださいと。

最後に、働き方改革は校長先生・主任先生も自分の学校だけではなく近隣の校長先生同士、それから近隣の生徒指導主事同士で連絡を取り合い、1人で仕事をしないということが私は働き方改革だと思います、ということを校長先生方にお話をしたところです。

報告に戻ります。

8月3日から九州地区の教育委員研修大会。委員の皆様にはお世話になりました。

8月5日 熊本みんなの海と川づくりデーでは、塩浸川の清掃を行いました。川は海に繋がっていきますので、以前、農薬がひどかったときに比べたら今は魚が戻ってきています。蛸も戻ってきていますし。うれしく思っています。

10時30分から菊南斎場で戦没者追悼式がありました。これに関して、やっぱり戦争の記憶がある方はどんどん少なくなっていますが、ただ、日本という国のことを考えた時、そのような方々に体験を語り継いでいただく機会を設けていきたいと思ったところです。

8月6日 北辰会。校長先生、教頭先生、または管理職の先生方を育てようという会ですが、退職校長会でもお話をしましたが、今、菊池管内の教頭先生校長先生、約半分が菊池出身の方ではないという現状ですね。これはやはり大きなハンディになっているのかなと。合志市の校長先生方、教頭先生方も菊池管内出身の方は半分です。ですので、地域の方との繋がりを私はしてあげたいなと思っています。先生方を様々な場面で地域の方に紹介をして、なるべく沢山のひとと会ってもらいたいと感じているところです。

8月15日 庁議と政策推進本部会議。

8月16日 決算審査講評。昨年の決算に関する審査結果を監査委員から説明を受けました。

教育委員会関連では、補助金等に関して、適正な執行はされているが、さらに説明責任を果たすようにしてくださいと、様々な団体への活動助成金等の使われ方に関しても、市民に説明ができるように準備をして欲しいというようなお話がありましたので、それぞれの団体に改めてお願いをしたところです。

8月17日 県民体育祭結団式。市民の皆さんを代表して出場される方々が活躍していただいているなどということを実感したところです。2週間に渡って、県民体育祭が開催されます。総合開会式はヴィーブルで実施する予定となっております。

8月18日 新規採用職員研修ということで、本年度は私も面接をした新採職員へ向けてお話をしました。内容は、シティプロジェクトということで市の職員にお願いしているのが「笑顔で挨拶をしよう」ということ、それから1人でしてしまいそうな仕事を必ず複数で行うというようなお話、もう一つが、新採職員の方も、市の行政に関わっている以上は地域住民の1人だから自分の住んでいるところの活動に何か関わりなさいということをお話しました。

8月19日 合生地区の夏祭りで、本当に盛り上がっていました。子ども達も沢山来ていました。

8月21日 議会全員協議会、それから定例記者会見。

8月23日 一般質問の打ち合わせ。本日午前中に本会議が始まりました。

以上で私の報告になりますが、何かご質問ありませんか。

○高本孝一教育委員

先生方の働き方改革と、新聞でも発表されましたが子ども達の学力低下がありますが、この二つは相反する要素かなと思います。合志市教育委員会としては、その辺りをどう整理して進めていかれるのかということについて、教育長のお話をお伺いしたいと思います。

○中島栄治教育長

全学調とそれから県学調の結果、本市の結果を見たときに、やはりこれまでよりは若干落ちてきている。わずかですけども、やはり落ちてきているというのは実感しています。ただ、一つは県全体の学力が上がってきていることもあります。全国の意識も上がってきている。やはり少人数で手厚い教育ができていく地域、東北地方、富山・秋田・福島などですが、人を入れて手厚くできているところは、学力も充実していくと思います。本市の学力の低下ということ

で言うと、私は先生たちの努力をというよりは、私達行政も含めて、人手不足をもう少し解消しなければならないと考えております。それから、本年度導入しておりますけども、個別のA Iドリルなど効果的な方法で働き方改革を推進していきたいと、さらに先生方に負担を強いるのではなく、現実的に今できることを続けること。また効果的なものを探るということで、学力充実対策をしたいと思います。

現状から言うと、人手不足がなかなか解消できないこともあります。それと、採用試験の倍率を見ても先生方が若干ですが、経験が少なかったり弱かったりする要素もこれからは出てくると思います。そのような先生方にも、どうやってフォローしていけるか、そういった意味では、本市では組織としての学校作り、夢実現プロジェクトもそうですが、本当にみんなで徹底できることを徹底してやっていくと、基本を大事にした授業を改めて見直すことを次の学力向上対策としていきたいと考えています。

○高本孝一教育委員

ありがとうございます。

小学校の部活動が社会体育に移行して、先生方が子ども達と関わる時間を確保するとか、教材研究の時間を確保するというところで、それも働き方改革の一つだったと思います。

今度、中学校も部活動から、土日は社会体育に移行するという、小学校と全く同じような道を進んでいると思っておりますが、蓋を開けてみると、小学校でも学力は上がっていない、中学校でも上がらなければ、何のための改革なんだろうというふうに周りを見ると思います。全国的には中学校は部活なんですけど、小学校の部活は熊本と大分ぐらいで、ほとんどクラブチームだったので、変わらない。熊本は部活から社会体育になり先生方もほとんど部活動に関わらないようになりましたが、今の状態というところなので、そこはよくよく考えていかないと、今の学力低下傾向、特に補助教員というか、専科の先生がいなかったり、特別支援学級の先生が足りないとかいろいろあっていますので、人材育成というものが大事になってくるのかなど。外から眺めた、責任のある発言ではありませんが、そういうことを私は心配しております。

○中島栄治教育長

ありがとうございます。小・中学校で言うと、合志市は小学校のときの差で
すかね、中学校になってからの方が上がっています。

以前は、小学校は良いけれども、中学校になって学力が落ちるとい
うようなことを言われていたのが、最近の傾向は小学校について全国平均、
県平均よりわずかに落ちることはありますが、中学校は僅差で伸びてい
るというようなことで、その点は子ども達も先生方も今の方向性はそれ
ほど間違えてはいないと感じています。

それから、部活動のことに関しては、プラスの影響、中学校の方が
落ち着いているというのはあるのかもしれませんが。小学校は少し変わ
ってしまったところもあるのかなというふうに感じているところです。

続きまして日程2の報告事項等に移りたいと思います。

○草場博志教育審議員

9月行事予定について2ページをご覧ください。

9月行事についてご説明申し上げます。

9月6日 教育事務所で、管内の教育長会議が予定されております。

9月8日 管内校長会が開催される予定です。

9月11日 合志市で校長会議を開催予定です。

今年度の教育事務所に要請しての総合訪問を9月14日木曜日、終日
になりますが予定しております。教育委員の皆様にはお世話になります。

9月16日 県関係で、先ほど教育長が申しあげました山鹿菊池県民
体育大会が開催され、16日土曜日は総合開会式が合志市で行われる
ということになっております。

9月20日 市議会の本会議の最終日となっております。

9月27日 午後から、市議会議員と中学生代表生徒との交流会を
予定しております。

9月29日 記載はありませんが、西合志中学校の経営訪問とな
っておりますので、お知らせをしたいと思います。

なお、来年度管理職、校長・教頭の二次選考が25日から29日にか
けて行われる事になっております。教頭の一次考査については8月26
日、先週の土曜日に実施されております。校長は書類選考という形に
なっております。

最後に9月の教育委員会会議を27日水曜日をお願いしたいと思います。

○中島栄治教育長

行事関係でご質問等はありませんでしょうか？学校関係では小学校の集団宿泊、それから中学校の修学旅行も大体この9月・10月・11月ぐらいに入ってきますので、病気で行けないなど無いように予防対策はしっかりとってもらいたいと思います。

では次に移ります。

その他について、まず生徒指導からお願いします。

○西和佳子指導主事

不登校児童生徒数について報告いたします。

7月の長期欠席児童についてですが、136名となりました。不登校数は105名です。不登校数の内訳は右の枠に書いてある通りです。

不登校傾向児童生徒数につきまして7月は109名となりました。

小学校、中学校の内訳ですが小学校が39名、うち小学校2年生が1名となっております。中学校は70名です。

いじめの認知件数ですが、4月に報告がありました小学校からの1件は解消済みとなっております。現在は中学校の1件が今月末で解消となりますので、経過観察中です。私からは以上です。

○中島栄治教育長

不登校の問題がコロナ明けから増えてきていますが、今後の対応として、文科省は不登校の解消とは絶対に学校復帰を目指すものではないということを行い始めております。何かと言いますと、フリースクールや適応指導教室その子どもに応じた学びの保障ができるような仕組みに切り替えていきましょようと、おそらく、とにかく学校復帰という路線が限界にきたということが言えるのではないかと。私も確かにニーズはこうやって増えていますから、やはりこの子ども達に関して、たとえ学校復帰が無理なら、どのような道があるのか、どうやって学びの保障ができるのか。リモートで授業を受けることに関して、先生方にもお話をしていきたいと考えているところです。

次に授業のICT活用の充実を目指してということをお願いします。

○小林信一指導主事

令和5年度授業者のICT活用の充実を目指してというA3版の資料を12校分入れております。

これは、6月に市内の小・中学校で授業をされる全ての先生方にアンケートを行った結果でございます。

9月からまた学校訪問等が始まりますので、その際の参考資料としていただければと思います。

概要をお伝えしておく、まずこのアンケートを取った意味ですが、今年度、学校教育の重点努力目標の中に、ICTの効果的な活用というのがあります。効果的な活用を目指す以上は、現在、先生方が実際にどれぐらい活用していただいているのかを把握する必要がありましたので、先ほどお伝えした通り6月アンケートを行い、7月の校長会で各学校の校長先生方にお伝えしております。なお2回目は1月にアンケートを実施して、2月の校長会でお伝えする予定です。

全体的な傾向として、簡単にお伝えしますと、先生方の電子黒板の授業はほぼ定着しております。タブレットでの授業についても、調べ学習で8割、発表や表現、いわゆるパワーポイント等のスライドを使った授業が7割、チームスでの授業も7割、それからバイシンクとって授業で子ども達と先生がタブレットと電子黒板での双方向の授業も5割の教員が活用しているということがわかりました。

今年度導入したeライブラリというAIを使ったドリル、家庭学習に主に使ってもらっていますが、それについても授業で6割、家庭学習で5割、それから学習評価で3割の先生方が使われているということがわかっています。

ただし、まだ小学校と中学校でも差が見られますし、学校によっても差があります。教育委員会もこれから学校訪問等を行って各学校の頑張りを見たいと思っていますが、教育委員の皆様もぜひ第1回目のアンケートの実態を見ていただいて、アドバイスをいただければと思います。よろしくお願いします。

○中島栄治教育長

ICTに関しては、今の20歳代の方はおそらく子どもの頃からスマートフォンを動かしてきた人が先生になっていきますし、退職間近の先生方は、キーボードに触りたくないという先生方もいらっしゃるし、年齢差も当然ありますし、実態ということに関しては非常に難しいものがあります。

ただ、これから先、誰もが使いやすく誰が使える、子ども達もいいっていうものにしないと、専門的な人が専門的な知識がないと使えないような方向

に研究を進めてもらっては困るっていうことですね。各学校もICTの研究の方向というのは、誰もができる方向で研究を進めてくださいと、こういう使い方をすると効果的ですよとか、これだとみんなもできるんじゃないですかという方向で進めてもらいたいというふうに考えているところです。

では追加報告に移ります。

○栗木清智学校教育課長

7月30日の新聞報道で、熊本県内の給食室は劣悪な環境であると、エアコン設置率が40%を切っているとありましたが、合志市の学校給食施設については100%のエアコン設置となっております。

○中島栄治教育長

合志市給食施設では空調設備設置率は100%となっております。このことについて何かありますか。

○高本孝一教育委員

市内の小学校は児童生徒数が急増しておりますので、児童生徒数が少ない時の基準で給食室を建てていて、調理数がぐんと増えているので、調理の先生たちがかかなり苦勞していると。物理的に狭い場所で大量に作らなければならないので、その付近は何か対策を考えておられますか。

○栗木清智学校教育課長

どこの学校も急激に児童生徒が増えたわけではなく、徐々に増加していき、気付いたら施設に対する調理数を超えてしまっているという状態です。特に西合志中央小はその傾向が顕著でしたので、今年度から給食センターが建設されるまでの間、米飯を委託するようにしました。

○中島栄治教育長

今年度中に給食センターの検討もしておりますので、新しい給食センターを考える中で改善を行うようにしたいと考えております。

その他、何かありませんでしょうか？

○林田新也教育委員

話が戻りますが、ICT関連で先日保護者の方とお話したときに、タブレットが配付された当初はタブレットに閲覧規制がかかっていたと。その方が言われるには、苦情があつてその規制が少し緩和されたのか、現在はタブレットで

遊んでいると。ゲーム感覚で遊んでいたり、動画を見ていたり。現状はどのような規制をかけているのかお聞きしたいなと思います。

○中島栄治教育長

実態をもう一度確認して、準備をしてから次回報告します。よろしくお願ひします。

SNSに関する被害から子ども達を守るっていうのもありますけど、子ども達がそのようなことで何か大事なことをできなくなったり、失ってしまわないような方針を持たなければいけないと考えているところです。

その他、何かありませんか。ではご起立をお願いします。

以上をもちまして令和5年度第5回教育委員会8月定例会を終わります。

お疲れ様でした。